

2022 年度

一般選抜入学試験 問題集

国語総合



共 栄 大 学

教育学部 / 国際経営学部

I 次の文章を読み、設問に答えよ。

全体を **ア** する目は気づきの基本である

「気づく」という心の働きは、心理学の世界では、問題解決の心理学や認知心理学の分野で主に取り扱われてきた。問題場面に出合ったときに、問題をどう感じ取り、どのように解決していくか――心理学でいえば、それが「気づく力」ということになるだろう。

図①を見てほしい。三方が開かれた檻があつて、そこにお腹をすかしたニワトリを入れる。檻の前方にエサを置くと、ニワトリはお腹が減っているから、エサを食べようと真っ直ぐに向かってくる。しかし、檻が邪魔になつて食べられない。

お腹をすかしたニワトリが何か食べたいという気持ち。心理学ではこれを「動因」という。そしてニワトリを引き寄せるエサを「誘因」という。お腹がすいていなかったらニワトリはエサがあつてもエサを食べようとしない。動因と誘因があるから、「このエサを食べるにはどうしたらいいか」という問題場面が生じるのである。

しかし、ニワトリは檻に隔てられたエサの前を右往左往するだけで、食べることができない。では、ニワトリよりも知能が高い犬を同じ檻に入れて、同じようにエサを与えたらどうなるだろうか。

犬も最初は迷うかもしれないが、やがて檻の一边が開いていることを発見して檻を脱出し、回り道しながらエサに辿りつき、食事にありつく。犬は問題を感じ取り、見事に解決策を見出した。わかりやすく説明すれば、これが「気づく」ということだ。

一度目標から遠ざかつて回り道をするというのは、実はかなり高度な思考である。図でいえば、自分と自分が入っている檻、エサの位置、檻の仕組みという全体構造が把握できなければ、そういう発想は出てこない。ニワトリのようにエサという要素にばかりとらわれてしまうと、全体の構造が見えなくなってしまう。だから問題場面が見通せない。問題の解決策に気づかない。

部分と全体の関係や構造を理解する。つまり、全体を **イ** する目を持つことは、問題や課題に「気づく」ために必要な基本要素の一つだ。

最初は全体像がつかめなくても、考えを重ねているうちにはつと閃く。「こっちにヒントがあるぞ」と思考の中心が変わる。すると場面の構造の見え方がまったく違ってくる。これを心理学の専門用語で「中心転換」という。

「中心転換」できる人は、まさに「気づく力」があるということだろう。

では、「中心転換」するためには何が必要なのか。物事をただぼーっと眺めていただけでは閃かない。大切なのはシミュレーションしてみること。今、自分がどのような場面にいるのか。こうしたら次はどうなるのか――と頭の中でシミュレーションする。それを何度も繰り返すことで、ふとヒントがつかめるのである。

-1-

A

動因と誘因の関係を人間に当てはめて考えてみよう。

会社に新入社員が入ってきたとする。「頑張つて稼ぐぞ」「会社のために尽くそう」……何でもいいが本人の「やる気」が動因である。前述したように、動因がなければ問題場面は生じない。つまり、やる気がなければ課題には気づかない。

そもそも尻を叩かれて仕事をやらされている人と、仕事が面白いと感じて積極的にやっている人とは仕事の見え方がまるで違う。やる気があれば疑問も湧くし、職場を離れても仕事のことが頭の隅から離れない。敏感になっているから、家でテレビを見ていても、仕事に役立ちそうなものがあれば取り入れようとする。それが新しい気づきにつながってくる。

一方、誘因になるのが、その会社は何を目指しているのか、どこへ向かっているのかという「目標」や「目的」、あるいは「ゴール」だ。誘因がなければ、やはり問題場面は生じない。会社が何をやるうとしているのかわかっていなければ、目標や目的には近づけないわけで、当然、これも課題には気づかない。

本人の「やる気」という動因。会社の「目標」「目的」という誘因。二つが揃えば、たとえば「目の前にある自分の仕事を達成するにはどうしたらいいか」というような問題場面が生じる。そこで、さまざまな課題に気づくようになる。

ここまでが、人が何かに「気づく」までの基本構造。次は気づいた課題をどう解決するかである。心理学者で教育学者でもあるデュイイによれば、問題解決の過程は五つのステップに分けられるという。

第一のステップは問題を感じることに。これがすべての出発点、いわば最初の「気づき」である。問題を感じるためには問題に対する **ウ** が必要だ。「どこに問題がありそうか」という問題に対する感受性、といってもいい。

第二のステップは感じた問題を明らかにすること。感覚レベルで問題をつかんだだけでは、次には進めないから、本当に何が問題なのかを明らかにする。ここでは物事を明らかにしようとする

エ が必要だろう。

第三ステップは明らかにした問題を解決するために必要な情報を集めることだ。情報を収集し、整理して体系化する。この時点ではコツコツと情報を集める **オ** が要求される。

第四のステップは仮説を立てること。こうすれば問題を解決できるだろうと仮説を立てる。今まで集めた情報を安易にそっくりそのまま仮説にしたのでは意味がない。あくまで批判的思考、批判的態度によって厳しく吟味して仮説を立てる。その意味では **カ** を持つことも、気づくための一つの能力といえるだろう。

-2-

そして最後の第五ステップは仮説の検証・評価だ。仮説をあてがってみて現象を分析したり、分解したり、さらに最後には統合して解決策を見出す。ちなみに欠陥やリコールを隠してしまえば何とかなるという解決策に至った三菱自動車には、仮説を立てる段階で批判的態度が欠落していたように思える。

このような問題解決に至る各ステップでの能力の違いが、気づく人と気づかない人の差になって表れてくるのだろう。

B

我々は何かの課題に直面したときに、まず自分がこれまでに経験してきた方法なり手段をあてがってみたり、応用してみようとする。うまくいけばOKだが、それができないときは、冒頭の犬のように場面や状況を分析し、分析して抽出した要素の因果関係などを関係づけする。わかりやすく言えば、「この場面でのポイントは何で、それをこうしたらどうなるか」といった関係づけをする。

さらにデューイが分析したような過程を経て、解決策を導き出そうとするわけだが、気づかない人はそうしたステップのどこかで引っかかってしまう。

たとえば自分の過去の経験を利用してうまくいかないのに、いつまでもそれにこだわる人がいる。そういう人は、やはり課題の本質が見えていないということになる。

うまくいかないときには、すぐに視点を切り替える思考の柔軟さが必要だ。特に若い人であれば、他の人のやり方を盗んだり、学んだりすればいい。初歩的なレベルならまず人に聞いてみるという姿勢が大切。まったくつまつさらな状態から、いろいろなことに気づけというほうが無理な話。全部が全部、自分で気づかなくてもいいのである。

図②はルーチンスの「水瓶問題」と呼ばれる古典的な思考テストである。チャレンジしてみたい。

さて、どうだろうか。一番から五番までの問題は「キ」の解答式で解けることに気づいたと思う。六番と七番の問題も同じ解答式で解けるのだが、実はもっと簡単な解答式がある。そう「a - c」「a + c」で解けるのである。

一番から五番までの問題を同じように解いていくと、ある種の「構え」ができる。「ああそうか、bの瓶で汲んだ水をaとcの瓶で汲み出せばいいんだ」と心の準備や行動がセットされ、もつとやさしく解けるのにそこに視点がいかない。簡単な方法を見逃してしまう。気づかない。もし集団でこの問題に挑んで、誰かが「これはク」で簡単に解けるぞ」と発言すれば、おそらく他の人もそれに引きずられて、集団全体が気づかなくなるだろう。

このように方法論が習慣化して、「今までうまくいったんだから、次もまたこれでできる」と

思い込んでしまうと、視点を切り替えることができなくなり、もつといい解決策があることを見逃してしまう。ゆえに慣れや習慣にばかり頼らず、柔軟な思考を持ち、いつも複数の視点で物事を眺めなければならない。

視点を変えられる能力というのは、気づく力に直結する。

図③は「埋もれ図形」(ウィットキン・H・A)といい、Aの図形がBの図形の中にいくつ隠れているかを探すテストだ。Bの図形の中にAの図形が見えない人は、Bの図形全体に依存してしまっている。これを専門用語で「場依存」の認知型という。一方、Bという全体構造を切り離して、Aという図形が見える人は「場独立」の認知型だ。場独立的な人は見かけや表面的な現象に左右されずに、物事の本質を見ることができるといえる。

しかし、本当に気づく力のある人はそれだけではない。「木を見て森を見ず」というが、ケ。課題によっては木を見るように細部にこだわったほうが解決策に気づく場合もあるし、森を見るように全体を見渡したほうがいい場合もある。理想的なのは視点を変換して、課題によって見方を変えること。それができると、本当に気づく力のある人だ。組織でいえば、上からの経営的な視点と現場レベルの視点を行き来できる人、である。

C

思考の柔軟さや視点の豊かさというのは、何も高低ばかりではない。

たとえば、エサとは反対方向に空間があることに気づいた冒頭の犬のように、空間的な広がりを感じするのも視野の柔軟さである。物事の背後にある潜在的な要因を見抜いたり、複数の現象をバラバラにとらえるのではなく、その関係性を抽出できるのは視点の深さである。何が原因で結果としてどうなるかという因果関係や、時系列的な変化を見通せるのは時間的な視野が広いといえる。

複数のモノの見方ができるようになれば、気づく力も高まってくるが、モノの見方には人それぞれ傾向がある。

自分はどういうモノの見方をする傾向があるのか、「認知スタイル」を確認するのに役立つのが図④の心理テスト(ケーガン・J)である。

両方とも目盛りがあるとか、数字がついているという部分的な要素に着目して、コに

○をつけた人は「分析型」である。サに

時間の中で生きている人間は時計を身につけるといって機能的な関係に着目して、シに○をつけた人は「推論型」だ。どの認知スタイルが優れているという問題ではない。分析、関係、推論の三つの認知スタイルで

図 1
動因と誘因

図 2
水瓶問題

問 a b c の水瓶を適宜組み合わせ、
解答式を作りだしてください。
(単位:リットル)

問題	a	b	c	水量	解答 (式)
例題	29	3	20		$a-3b=20$
1	21	127	3	100	
2	14	163	25	99	
3	18	43	10	5	
4	9	42	6	21	
5	20	59	4	31	
6	23	49	3	20	
7	15	39	3	18	

Luchins A.S

図 3
埋もれ図形

図 4
「認知スタイル」テスト

(橘川真彦「なぜ、人は『大切なこと』を見逃すのか」による)

物事を見れば、たいていのことには気づく。課題に合わせて認知スタイルをコントロールできればベストだが、気づかない人は自分の得意な認知スタイルでしかモノを見ていない可能性が高い。

自分の認知スタイルを確認して、「私はどうも細かい要素にとらわれる分析型だから、もっと上位の概念でまとめてみる訓練をしよう」とか、「関係性を見るのが苦手だから、関係性に注意して物事や現象を見るようにしよう」と感じてくれればいい。

このように自分を、さらに高いところから正しく見つめることを「メタ認知」という。

ス

職場で一生懸命仕事をしているつもりなのに何かポイントがずれていたり、他人から評価されないと感じている人は、およそこの「メタ認知」ができていない。

また、何かに取り組むときに一〇〇%全力で頑張っていない。「脇目も振らず」という言葉があるが、セ。九〇%の力を注いで、一〇%は「自分が今、どういう状態にあるのか」をセルフモニタリングする余力を残しておく。それもまた、気づくコツなのである。

- 問一 空欄 ア と空欄 イ には同じ熟語が入る。入るものとして最も適当なものを、次の1～5のうちより一つ選べ。
- 1 凝視 2 仰望 3 解決 4 転換 5 俯瞰
- 問二 空欄 ウ から空欄 カ に入るものとして最も適当なものを、それぞれ次の1～4のうちより一つずつ選べ。
- 1 粘り強さや根気 2 感覚的な敏感さ 3 批判的な視点 4 探究心
- 問三 空欄 キ と空欄 ク には同じ計算式が入る。それは「①ー②ー③」(ーはマイナスを表す。つまり引き算の式となる) というものである。①②③にあてはまるものとして最も適当なものを、次の1～6のうちより一つ選べ(重複して選んでもよい)。なお、すべて正答の場合のみ得点を与えるものとする。
- 1 a 2 2 a 3 b 4 2 b 5 c 6 2 c
- 問四 空欄 ケ と空欄 セ に入るものとして最も適当なものを、それぞれ次の1～4のうちより一つずつ選べ。
- 1 常に全体を見ることに力を注ぎながらシミュレーションをすべきである
- 2 逆に森全体を見せしめようと、個々の木は見えない
- 3 そうなると対象の仕事以外はまったく目に入らない
- 4 他に目を奪われることなく、今やることに全力を集中することが大切である
- 問五 空欄 コ 、空欄 サ 、空欄 シ に入る組合せとして最も適当なものを、次の1～3のうちより一つ選べ(重複して選んでもよい)。なお、すべて正答の場合のみ得点を与えるものとする。
- 1 時計と物差し 2 時計と人 3 物差しと人
- 問六 空欄 ス に入るものとして最も適当なものを、次の1～5のうちより一つ選べ。
- 1 檻越しにエサを見つめるニワトリ
- 2 わざわざ回り道してエサを食べる犬
- 3 尻を叩かれて仕事をしている人
- 4 仕事が目白押しと感じて積極的にやっている人
- 5 細かい要素にとらわれる分析型の人
- 問七 A・B・Cの見出しには、それぞれ次の1～3のどれかが当てはまる。このうち、Cの見出しとして最も適当なものを一つ選べ。
- 1 注意しておきたい仕事の慣れと習慣化
- 2 一〇〇%全力で頑張っていない
- 3 やる気と目的はハッキリしているか

Ⅱ 次の文章を読み、設問に答えよ。

今からもう二十年も前になる。私は東京郊外のワンルームマンションに暮らしていた。

最寄りの駅から歩くと三十分以上かかり、駅前からバスに乗ると、終点は埼玉県になる場所だった。

その夜はとても寒かった。外で吹き荒れる寒風が、サッシ戸を氷のように冷たくしていた。暖房は入っていたが、すきま風が吹き込む安普請のワンルームマンションだった。

仕事から戻ると、とっぜん寒気を感じた。風邪を引いたのだらうと、早目に布団に入ったのだが、なかなか寝付けずにいた。

その日、会社で嫌なことがあった。自分でも ア と思うのだが、総合職で入社した一年後輩の男性社員に「資料の作り方がなっていない」と大勢の前で注意され、あまりの悔しさに「どうせ私は一般職採用の事務員ですから」と言い返してしまったのだ。

入社時、私が仕事を教えた後輩だった。自分よりも給料の高い後輩に仕事を教え、今ではその後輩のコピー取りをやらされている。

男女雇用機会均等法が施行されて、すでに二年が経っていたはずだ。両親に無理を言って、四年制の大学を卒業していた。

もちろん必死に就職活動もした。が、希望する会社の内定はもらえず、かといって就職浪人する余裕もなく、「とりあえず一般職で内定もらって入社すれば、その先は自分の頑張り次第じゃないの」という友人の言葉を信じてしまった。

しかし、元々敷かれたレールが違うのだから、いくら自分が頑張ったって a レールを敷き直すのは不可能だった。

その夜、布団に入っても寒気は治まらなかった。逆に時間が経てば経つほど、気分が悪くなっていく。あいにく買い置き風の風邪薬も切れていた。子供のころから イ 自分の性格が、好きで嫌いだったはずなのに、さすがにこの夜に限っては、実家の母に電話して、声を聞きたくなるほどだった。

夜の九時を回って、今のうちに薬を買いに行ったほうがいいと決心した。駅の近くに十時までやっているドラッグストアがあった。

ふらふらしながらも布団を出て、着込めるだけで部屋を出た。暮らしていたワンルームマンションは三階建ての細長い造りで、各階に三十部屋ほどが並んでいた。

住人は近所にある大学の学生がほとんどで、中には自分のような若い勤め人もいるらしかったが、近所付き合ひどころか、隣にどんな人が住んでいるのかさえ知らなかった。

エントランスに約百世帯分の郵便受けが並んでいた。ビラや広告がはみ出るほど溜まっているボッ

- 7 -

クスもあれば、小さな錠前をつけているボックスもある。

郵便受けの前が自転車置き場になっていた。百世帯分の自転車を置くには狭すぎて、必ず誰かの自転車が倒されていた。

肌を切るような寒風の中、自転車を漕いでドラッグストアへ向かった。通りの名前は忘れたが、一晩中トラックが行き交う大きな産業道路だった。自転車を漕いでいると「どうせ私は一般職採用の事務員ですから」と言い返したときの後輩社員の顔が思い出された。申し訳なさそうな顔をしたつもりなのだろうが、それは ウ ような顔だった。

ドラッグストアで風邪薬を買い、店を出ると、たつた今、そこに停めた自転車がなくなっていた。風邪のせいで、置いた場所を勘違いしているわけではなかった。置いたのは間違いなく電話ボックスの横だった。一瞬、頭が真っ白になり、駅のほうから歩いてきた人に「自転車が……」と声をかけそうになった。

自転車がそこから消えたというよりも、自分自身がふっと消されたような感じだった。

間違ひなくそこに停めたはずなのに、気がつく、自分を疑っていた。自転車は別の場所にある。自分が勘違いしているはずだ、と。

ただ、いくら探しても、やはり自転車は見つからない。探していると、驚きが怒りに、怒りが言いようもない哀しみに変わっていく。ほとんど半べそをかきながら、駅前の交番へ走った。

若い警官は事情を聞くと「じゃまだそんなに遠くには行っていない」と呟き、すぐに自転車に跨って探しに行行った。

残っていたもう一人の警官が、「見つかったら連絡しますから連絡先を」と言うので、メモ帳に名前と電話番号を書いた。

書き終わると「今夜中に連絡なかったら、見つからないと思ってもらったほうがいいでしょうね」と彼は言った。

最終のバスが出たばかりだった。タクシー乗り場には長い行列ができ、肝心のタクシーは一台も停まっていなかった。

トラックの行き交う産業道路を歩いて帰るしかなかった。どんな理由があっても、他人の自転車を盗むのか、どんな理由があっても、自分がこんな目に遭わなければならないのか、いくら考えても分からなかった。

哀しみがだんだんと憎しみに変わっていく。やっとの思いでマンションに着いたとき、必死に我慢していた涙が溢れた。

b 世界中から自分が憎まれているような気がした。世界中から自分が笑われているような気がした。その夜、交番からの連絡はなかった。翌日、まだ風邪は完治していなかったが、ここで休むわけ

- 8 -

にはいかないと、無理をして出社した。

早速、上司に呼び出され、昨日のことを咎められた。返す言葉もなかった。昨夜、自転車が消えた瞬間に、別の何かも消えてしまったような気がした。

その日、会社から戻ると、郵便受けにクレジットカードの請求書やダイレクトメールに混じって、別の部屋宛ての封書が間違って投函されていた。

宛て名は男性の名前で、一階上の部屋番号が書かれていた。差出人の名前はなかった。

入れ直してあげようと、正しい郵便受けを探していると、ふと足が止まった。本当に衝動的なものであった。私はその封書をコートのポケットに押し込んだのだ。

未だに、なぜあのとき、そんなことをしようと思ったのか、いくら考えてもはっきりとした理由が分らない。

自転車を盗まれた悔しさを、そんなことで解消しようとも思ったのか、それとも自分だけが嫌な目に遭っていると思ひ込み、誰かにその仕返しでもしようと思ったのか。

他人宛ての封書をポケットに入れたまま、私は足早に階段を上がって自分の部屋に向かった。誰にも見られていないことは分かっていたが、心臓は今にも口から飛び出しそうで、鍵を差す指は震えた。

転がり込むように部屋へ上がり、思わず床に蹲っていた。世の中には他人の自転車を平気で盗むヤツもいる。本当に困っている人の自転車を盗み、自分だけが楽をするヤツもいる。気がつけば、そんなことを眩いていた。

ポケットから手紙を出すと、よほど握りしめていたのか、くしゃくしゃになっていた。

今、郵便受けに戻しに行けば、何もなかったことになるとは分かっているのに、指が勝手に封を切ろうとする。ほとんど息もできなかった。封さえ切れれば、すぐに楽になれる。そんな声がある。

私は封を切った。乱暴に破り捨てようとした。あとは一気に便箋を抜き出した。自分に何も考える暇を与えないように、引き出した便箋を広げて、すぐに読んだ。

六畳一間の狭いワンルームだった。何にもない部屋だった。引越越しを手伝ってくれた母から「もっと女の子らしくしなさいよ」と笑われるほど何の飾り気もない部屋だった。まだ暖房もつけていない部屋は寒くて、床の冷たさが服に染み込んでくる。

負けず嫌いな子供だった。自分が優秀だとは思っていなかったから、負けないように、人一倍努力してきた。ただ、努力しても、どうにもならないことがあると、大人になって初めて知っただけのことだった。

手紙を読み終わったのが先だったのか、涙が溢れ出したのが先だったのか、今ではもう思い出せない。私は何度もその手紙を読んだ。泣きながら読み、読みながら泣いていた。

- 9 -

手紙は、大学生の孫へ宛てられた祖母からのものだった。暗いところで書いているから字が下手くそだけど……と前置きされた文面には、まるで小学生のような文字が並んでいた。

「おばあちゃんも若いころ独りで働きに出たときは、寂しくて、心細くて、泣いてばかりだったよ。でも、一生懸命がんばれば、トモダチもできる。みんなに可愛がってもらえるよ。

貴方も独りで寂しいやろうけど、我慢してがんばりなさい。大学を辞めたいってお母さんに相談したらいいけど、お母さん心配してましたよ。おばあちゃんがんばってほしいけどね。

最近、自炊を始めたらしいですね。体だけは丈夫にして下さいね。野菜なんかは何日も保つものだから、まとめて買って置いて、ちよつとずつでもいいから毎日食べなさいよ。

もう遅いから寝ますね。また手紙書きます。貴方も暇があったら手紙下さいね」

一年後、私は会社を辞めた。再就職したのは、辞めた会社と比べると、かなり小さな所で、給料もガクンと落ちたが、それでもチャンスは与えてもらえ、それに応えようと一生懸命働いた。

無我夢中で十五年働き、五年前、社長の支援もあって独立することもできた。籍は入っていないが、一緒に暮らして八年になる相手もいる。最初で貰った人生だったが、あの蹟きがなければ、ここまて来れなかったような気がする。

手紙を持って、何度、大学生の部屋へ謝りに行こうとしたか分からない。玄関先まで行って、勇気が挫け、何度引き返しただろうか。自分がとんでもないことをしてしまったと、とつぜん体が震え出す夜もあった。

似たような封筒を買ってきて、おばあさんの字を真似ようとしたこともある。だが、玄関先に立つても、新しい封筒に宛て名を書いても、最後の一步が踏み出せなかった。

一度だけ、それらしき大学生と廊下ですれ違ったことがある。玄関先まで行き、やはりチャイムを押せずに戻ろうとしたとき、彼らしき男性が可愛い女の子を連れて戻ってきたのだ。

彼が「こんばんは」と明るく挨拶してくれた。許されたわけでもないのに、なぜか全身から力が抜けた。

彼は来年入るらしいゼミのことを彼女に説明していた。そこでやっと自分のやりたかった勉強ができる、と。

二十年後の今も、私はこの手紙を手放せずにいる。

(吉田修一「自転車泥棒」による)

- 10 -

問一 空欄 ア に入るものとして最も適当なものを、次の1～5のうちより最も適当なものを一つ選べ。

- 1 不甲斐ない 2 堪らない 3 やるせない
4 大人げない 5 心もとない

問二 空欄 イ に入るものとして最も適当なものを、次の1～5のうちより最も適当なものを一つ選べ。

- 1 思ったことが口に出る 2 一本筋の通った 3 泣き言を言わない
4 肝が据わっている 5 堂々めぐりしている

問三 空欄 ウ に入るものとして最も適当なものを、次の1～5のうちより最も適当なものを一つ選べ。

- 1 あざわらう 2 あやしむ 3 媚びる
4 哀れむ 5 さげすむ

問四 傍線部 a「ルールを敷き直す」とはどのようなことであるか。次の1～5のうちより最も適当なものを一つ選べ。

- 1 一般職として採用されたが、総合職としての仕事に移っていくこと。
2 男女雇用機会均等法が施行されてもまだ地位の低い女性が、男性と肩を並べていくこと。
3 もともとと納得して入社した会社ではないが、そこでやりがいを見出していくこと。
4 若くて優秀な総合職であっても、先輩と後輩のけじめはしっかりとつけていくこと。
5 全ての一般職・総合職社員の仕事内容を逆転させていくこと。

問五 傍線部 b「世界中から自分が恨まれているような気がした。世界中から自分が笑われているような気がした」とあるが、これは私のどのような状態を表したもののか。次の1～5のうちより最も適当なものを一つ選べ。

- 1 自分なりに一生懸命働き、そして毎日を誠実に送っている。そんな自分の存在そのものが世間から疎まれてるように思われ、苦しんでいる。
2 自分の日々の努力など誰にも理解してもらえず、笑われているようにさえ感じる。それならばどうにでもなれと開き直り、むしろ晴れ晴れとしている。
3 なぜかいつも自分だけが周りからきつい言葉を浴び、つらい目に遭ってしまふ。もしかしたらその要因は自分の中にあるのではないかと自分の内面と冷静に向き合っている。
4 自分は周囲の人と同じように仕事ができないし、自転車の管理さえできない。後輩にも追い越され、警察官にも相手にされないのだと自虐的な考えに陥っている。
5 後輩の一件から、自分一人が断絶された環境にあると感じていたが、このような悲惨な目に遭って、かえって自分が世界とつながっていることを実感している。

問六 傍線部 c「返す言葉もなかった」とあるが、これはどのような理由からであるか。次の1～5のうちより最も適当なものを一つ選べ。

- 1 上司からの忠告である以上、黙って拝聴し続けるしかなかったから。
2 上司のあまりの剣幕におされて、途中で言葉を挟む余裕などなかったから。
3 昨晚の出来事が後味の悪い余韻となつて残り、全てが上の空になつてしまつたから。
4 後輩への態度が不適切であつたことは、自分でも十分にわかつていたから。
5 やはり風邪が悪化してしまい、高熱が出てすでに呂律も回らなくなつていたから。

問七 傍線部 d「封さえ切れれば、すぐに楽になれる」とあるが、これはどのような理由からであるか。次の1～5のうちより最も適当なものを一つ選べ。

- 1 自転車を盗まれたくやしさを憂さ晴らしができるから。
2 決断に尻込みをする自分に決着が付けられるから。
3 開封されていた手紙であつたと装うことによって、持ち主に返しやすいくなるから。
4 くしゃくしゃになつた手紙は、切り刻んで始末するしかないから。
5 開封と同時に気分も解放され、悪化した風邪も快方に向かつていくから。

問八 傍線部 e「二十年度の今も、私はこの手紙を手放せずにいる」とあるが、これはどのような理由からであるか。次の1～5のうちより最も適当なものを一つ選べ。

- 1 一般職・総合職という自分が縛られていた誤った概念から解き放つてくれたのがこの手紙である。以後、職種を超えた能力性という自分の会社の理念のヒントをくれたものであるから。
2 手紙を盗んだという取り返しのつかない行為の痛みは依然として心の中に存在しているけれども、この手紙がきっかけで自分は大きく変わった。そうした自分を常に問い直してくれるものであるから。
3 この手紙を手放して誰かの手に渡ったなら、せっかく築いた今の地位や名誉が著しく傷つけられてしまふかも知れない。そうなつたら、今度こそ立ち直れなくなつてしまふことが十分に予測されたから。
4 いつかあの青年と再び会ったときに、あのような行為におよんでしまったお詫びをしたい。そして、その行為が自分をここまでにしてくれたということを理解してもらおうという決意をしたから。
5 自転車はあれからついでに出てこなかった。自分のターニングポイントとなつた事件があつた当日の手紙を持つていたことによって、自転車の盗難事件のことをいつも思い出せるようにしたいから。

Ⅲ 次の文章を読み、設問に答えよ。

次に示すものは、ある大学の教員同士（K 先生と A 先生）の会話である。これを読み、各設問に答えよ。

K いよいよ入試の時期ですね。A 先生はどのような学生が入学してくることを期待しますか。

A やはり、日本語をしっかり使いこなせる学生に入学してほしいですね。日本語を第一言語とする人は、日本語によってものごとを考えているわけです。日本語がしっかり使いこなせないということは、しっかり考えられないということですから、大学においての専門教育にはついてくることが難しくなってしまう。

K 本当にそうですね。その日本語においては、正しさはもちろんですが、豊かさも求められますね。

A 正しさと言えは、まず漢字や語彙ですね。大学においてはレポートをたくさん書いていくことになります。その中で必要最低限の漢字は正しく使い、さらに適切な言葉を用いてほしいですね。

K 豊かさに関しては、先人の知恵の結晶であることわざや慣用句、故事成語なども常識として知っているほしいですね。

A そして、短歌や俳句、代表的な文学作品なども常識として知っていてほしいですね。これからの国際化社会を生きていく上での基盤となるものですから、しっかりと理解しておく必要があります。すばらしい新入生が入学してくれるとよいですね。期待しましょう。

問一 会話文中の傍線部 A「漢字や語彙」についての問題である。以下の指示に従って答えよ。

(一) 次のア～ウの各文の傍線部の読みを平仮名で記した場合、読みの一文字目にあたる平仮名として最も適当なものを、それぞれ後の 1～8 のうちより一つ選べ。

- ア 彼の動きが緩慢になった
イ 彼女は定説を覆す大発見をした
ウ 私は契約内容を履行した
- | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | か | 2 | く | 3 | り | 4 | ふ |
| 5 | せ | 6 | ゆ | 7 | だ | 8 | ひ |

-13-

(二) 次のア～ウの各文の片仮名と同じ漢字を用いるものを、それぞれ後の 1～5 のうちより一つ選べ。

ア 目標を達成するために絶大な効果を発示した。

1 キ上の空論だ。

2 キを一にする。

3 楽団を指キする。

4 国キを掲揚する。

5 キに乗じて攻めた。

イ その課題については弱点がケン著に露呈した。

1 経費をケン約する。

2 ケン微鏡で観察する。

3 ケン身的に仕える。

4 ケン実に生きる。

5 ケン悪な雰囲気になる。

ウ 夢と現実が交サクしたような状況となった。

1 試行サク誤を繰り返す。

2 途中の一文をサク除した。

3 サク為的に改変した。

4 サク日の反省をした。

5 サク略を練った。

(三) 「読書」と同じ構成の熟語はどれになるか。次の 1～5 のうちより最も適当なものを一つ選べ。

1 日没 2 低温 3 往復 4 避難 5 推薦

問二 会話文中の傍線部 B「ことわざや故事成語、慣用句」についての問題である。「瓢箪から駒が出る」ということわざはどのような意味をもつか。次の 1～5 のうちより最も適当なものを一つ選べ。

- 正直者には自然と宝ものが手に入ってくる。
- 大切なものは然るべきところにしまうべきである。
- 意外なところから意外なものが出る。
- 失敗は必然的に成功のもととなるものだ。
- 普段と変わったことはするべきではない。

-14-

問三 会話文中の傍線部 C「短歌や俳句、代表的な文学作品」についての問題である。以下の指示に従って答えよ。

(一) 「ふるさとの月の港を過ぎるのみ」(高浜虚子)という俳句と同じ季節を詠んだものはどの句か。次の 1～5 のうちより最も適当なものを一つ選べ。

- 1 雪とけて村いつぱいの子どもかな (小林一茶)
- 2 夕立が洗っていった茄子をもぐ (種田山頭火)
- 3 窓の燈の草にうつるや虫の声 (正岡子規)
- 4 吾が影の吹かれて長き枯野かな (夏目漱石)
- 5 夕桜あの家この家琴鳴りて (中村草田男)

(二) 村上春樹の作品として正しくないものはどの作品か。次の 1～5 のうちより最も適当なものを一つ選べ。

- 1 羊をめぐる冒険
- 2 万延元年のフットボール
- 3 風の歌を聴け
- 4 ノルウェイの森
- 5 アンダーグラウンド

【国語総合】

Ⅰ（44 点）			
設 問		解 答	配 点
問一		⑤	4
問二	ウ	②	4
	エ	④	4
	オ	①	4
	カ	③	4
問三	①	③	4
	②	①	
	③	⑥	
問四	ケ	②	4
	セ	③	4
問五	コ	①	4
	サ	②	
	シ	①	
問六		①	4
問七		②	4

Ⅱ（32 点）		
設 問	解 答	配 点
問一	④	4
問二	③	4
問三	④	4
問四	①	4
問五	①	4
問六	④	4
問七	②	4
問八	②	4

Ⅲ（24点）				
設 問			解 答	配 点
問一	(一)	ア	①	2
		イ	②	2
		ウ	③	2
	(二)	ア	③	2
		イ	②	2
		ウ	①	2
	(三)		④	3
問二			③	3
問三	(一)	③	3	
	(二)	②	3	



共 栄 大 学

学務部 入試担当

〒344-0051 埼玉県春日部市内牧 4158

電 話 048-755-2490 (直通)